

**江東区南砂第二保育園・江東区南砂第四保育園
指定管理者（候補者）の推薦について**

令和４年８月

江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会

保育所専門部会

目 次

I	施設及び指定管理者（候補者）概要	・ ・ ・ ・ ・	P 1
II	選定方法	・ ・ ・ ・ ・	P 2
III—1	南砂第二保育園選定結果	・ ・ ・ ・ ・	P 3
III—2	南砂第四保育園選定結果	・ ・ ・ ・ ・	P 1 0
IV	外部有識者意見	・ ・ ・ ・ ・	P 2 1
＜参考資料＞			
	事業計画書	・ ・ ・ ・ ・	P 2 3
	収支計画書	・ ・ ・ ・ ・	P 3 5
	定款	・ ・ ・ ・ ・	P 3 8

I 施設及び指定管理者(候補者)概要

施設名		江東区南砂第二保育園	江東区南砂第四保育園
1 施設	所在地	江東区南砂2-3-1-101	江東区南砂2-3-4-101
	施設面積	延床面積 712.09㎡	延床面積 811.42㎡
		屋外遊戯場面積 527.84㎡	屋外遊戯場面積 545.25㎡
	構造	鉄筋コンクリート地上14階のうち、1階部分	鉄筋コンクリート地上14階のうち、1階部分
	開設年月日	昭和51年5月1日	昭和52年5月1日
		平成20年4月1日より公設民営保育所として開所	平成30年4月1日より公設民営保育所として開所
	設置の目的	乳児、幼児その他の児童で、保護者の労働又は疾病その他の事由により保育が必要と認められるものを入所させ、保育する。	
	設置条例	江東区保育所条例（昭和36年3月江東区条例第9号）	
2 指定管理者（候補者）	名称	社会福祉法人 わかみや福祉会	株式会社 日本保育サービス
	所在地	東京都江戸川区船堀二丁目19番4号	愛知県名古屋市中区葵三丁目15番31号 千種ニュータワービル17階
	設立	昭和53年6月28日	平成16年10月1日
	事業内容	保育所の経営	保育所の経営
	運営実績（保育所のみ記載）	【公設民営保育所】1園 弁天保育園 【私立保育所】4園 花と鳥保育園、かがやき保育園（江東区） マリヤ保育園（江戸川区） 入船北保育園（浦安市）※公設民営であったが令和3年4月1日より公私連携型保育所（公有施設を無償もしくは廉価で貸付・譲渡し、運営を協定に基づき民営とする保育所）となった	【公設民営】10園 大島第五保育園（江東区） 東京都：3園、埼玉県：2園、千葉県：2園、愛知県：2園 【私立保育所】183園 アスクもんなか、アスク豊洲、アスク東大島（江東区） 東京都：63園、神奈川県：67園、埼玉県：5園、千葉県：10園、宮城県：9園、愛知県：7園、大阪府：6園、北海道：3園、滋賀県：3園、沖縄県：3園、福岡県：2園、山形県：1園、福島県：1園 【認可外・認証】9園 アスク亀戸（江東区） 東京都：8園 【認可外・公設民営（保育室）】1園 東京都：1園 【認可外・民設民営（一時保育）】2園 東京都：2園 【認可外・民設民営】2園 東京都：2園
3 指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）		
4 推薦理由	上記法人について審査を行ったところ（審査項目及び結果については次頁以降を参照）、良好な結果を得た。 現在の各運営法人は、指定管理移行時から児童福祉法に基づく適正な保育施設の運営を行っており、安定した施設の管理運営が見込める。以上の理由から、現在の各運営法人を指定管理者として推薦する。		

Ⅱ 【選定方法】

1 非公募選定の方法

以下の点について専門部会において書類審査及びヒアリングを行い総合的に評価を実施した。

- ①これまでの実績、今後の計画が明確であること。
- ②園の運営について保護者からの支持が得られていること。
- ③財務状況に問題がないこと。

(1) 書類審査

法人から提出された運営企画書、利用者アンケート及び財務諸表を基に実施した。

(2) ヒアリング

書類では確認できなかった部分について、現地視察を行うとともに、庁内において法人に対しヒアリングを行った。

2 選定の経過

日付	会議名	内容
令和4年2月3日 (書面開催)	江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会保育所専門部会	非公募の検討 選定基準(案)の検討
令和4年3月15日	江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会	非公募選定の決定
令和4年5月16日	江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会	選定基準の決定
令和4年7月28日	江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会保育所専門部会	推薦候補者の選定

3 部会員名簿

江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会保育所専門部会 会員名簿

役職	職名	氏名
部会長	こども未来部長	油井 教子
副部会長	保育計画課長	西野 こずえ
	保育課長	鳥井 将弘
部会員	こども家庭支援課長	鳥谷部 森夫
	児童相談・養育支援担当課長	小越 誠
	保育計画課保育計画係長	飯田 和孝
	保育計画課運営指導係長	橘 まゆみ
	保育計画課運営指導担当係長	横田 伸江
	保育課保育管理係長	鳴田 隆
	保育課保育支援係長	佐藤 久美子
	保育課入園係長	青柳 徳将
	城東保育園園長 (区立保育園園長会 会長)	前田 千鶴子
	亀高第二保育園園長 (区立保育園園長会 副会長)	石川 美和
外部有識者		

Ⅲ－１ 南砂第二保育園選定結果

１ 書類審査・ヒアリングの結果

(1) 運営企画書による評価

江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会保育所専門部会会員による採点の結果は「A評価」である。採点詳細及び見解は4頁以下のとおりである。

(2) 利用者アンケートについて

平成30年から令和3年度までに実施した利用者アンケートの直近4か年の総合評価は「A評価」である。詳細は7頁以下のとおりである。

(3) 財務状況審査

財務状況審査の基礎となる中小企業診断士による財務状況診断結果の詳細は9頁の
とおりである。

以上のことから財務状況の総合評価は「A評価」である。

中小企業診断士による決算分析を基に、専門部会において財務状況を審査した。
非常に優れた財務状況である場合はA、一部に懸念すべき点があるが支障がない
場合はB、懸念すべき点が多く支障がある場合はC、財務状況が非常に悪く支障がある
場合はDとした。

２ 選定結果総括

	実績・今後の計画 (運営企画書)	保護者からの支持 (利用者アンケート)	財務状況診断
南砂第二保育園 (社福・わかみや 福祉会)	A	A	A

実績・今後の計画、保護者からの支持及び財務状況は良好であり、当法人については再指定が妥当であると考ええる。

３ 外部有識者への意見聴取

江東区南砂第二保育園における保育所指定管理者選定に関し、意見を聴取した。

(外部有識者氏名及び略歴)

氏名
略歴

意見聴取の結果については21頁のとおりであります。

【採点表】

区分	選定基準	配 点		南砂第二保育園	
	評価項目				(平均点)
1	保育園運営に関する考え方	(小計)	360	289.4	80.4%

区分	選定基準	配 点		南砂第二保育園		
	評価項目				(平均点)	(得点率)
2	特別保育事業に対する考え方	(小計)	40		33.2	83.1%
3	地域との関わりに対する考え方	(小計)	20		16.5	82.3%
4	職員配置	(小計)	20		17.2	86.2%
5	コスト削減	(小計)	10		8.6	86.2%
6	再指定にあたっての考え方	(小計)	10		9.2	92.3%
合計点		460点満点			375.0点	81.5%
※保育所専門部会員 13 人による平均得点を算出し、得点が配点の 8 割以上の場合は A、6 割以上の場合は B、4 割以上は C、4 割未満は D と評価する。				評価		
				得点率が 375点/460点＝		
				81.5%		
				よって A 評価とする。		

【南砂第二保育園の運営企画書に対する見解】

審査項目	保育所専門部会としての意見
1 保育園運営に関する考え方	全体的に良好な運営が確認された。食育には特に力を入れており、誕生日メニューや行事食のみならず、咀嚼力をつけるためのカミカミメニューや郷土料理、世界の食文化などを給食に取り入れており、食育計画についても各年齢で月ごとに細かく設定するなど積極的に取り組んでいる。またコロナ禍において中断しているが、保護者との意見交換の場としてお茶を飲みながら話す場を設けるなど、工夫して交流を行っており、今後も状況に応じて再開することを検討している。
(保育に携わる職員としての基本的な資質の確保)	子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育を行うため、職員一人ひとりの倫理観・人間性、保育所職員としての職務・責任の理解と自覚を基盤と考えている。職員が資質向上のため、法人内外の研修に参加する機会をもち、目的意識を持って参加できるよう年間を通して計画的に職員育成を行っており、研修参加後は職員会議等で発表し、スキルアップだけでなく職員の意識の統一にも努めている。
2 特別保育事業に対する考え方	2時間延長保育、スポット延長保育を実施している。延長保育時間については、職員間の引継ぎやアレルギー児に対する食事提供に工夫がされている。 自主事業としては、外部講師を招いた英語や造形、リトミック、体操及び茶道を実施し、児童が様々な経験ができる機会を設け、保育の充実に取り組んでいる。
3 地域との関わりに対する考え方	地域に根差した保育園として以前より近隣の小学校と連携し、校庭での活動や小学生の職場見学の受入れなど交流を行ってきた。コロナ禍においても、園庭解放を実施しているが、近隣の在宅支援センターへの訪問・交流の再開も考えている。
4 職員配置	必要とされる職員数を配置するようにしており、引き続き安定的な職員配置が今後も期待される。
5 コスト削減	保育園運営におけるコストの大部分は人件費であるため大幅なコスト削減は困難である中、研修を通して意識やスキルを高め就業時間の遵守によってコスト削減につなげている。また日々の基本的な節水・節電に加え全室LEDライトに交換工事を行っている。
6 再指定にあたっての考え方	少子化社会・コロナ禍においても在園児だけでなく地域の子育て世帯のために保育や支援を提供していくという地域に根差した保育園を目指し、園のホームページの拡充など、園を知ってもらう働きかけを考えている。 法人理念である「24時間共育で」に取り組んでおり、今後も引き続き良好な運営が期待できる。

【利用者アンケート結果】

利用者アンケート(H30～R3平均)		南砂第二保育園	
		肯定的な意見の割合	評価
1	保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	99.5%	A
2	保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	98.2%	A
3	提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	97.9%	A
4	保育所の生活で身近な自然や社会と十分に関わっているか	91.5%	A
5	保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	90.8%	A
6	安全対策が十分取られていると思うか	76.0%	B
7	行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	78.5%	B
8	子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	85.6%	A
9	施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	81.0%	A
10	職員の接遇・態度は適切か	89.8%	A
11	病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	91.0%	A
12	子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	74.0%	B
13	子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	90.9%	A
14	子どもと保護者のプライバシーは守られているか	86.4%	A
15	保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	83.2%	A
16	利用者の不満や要望は対応されているか	77.4%	B
17	外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	70.0%	B
※ 肯定的な答えの割合が8割以上であればA、6割以上はB、4割以上はC、4割未満はDと評価する。アンケート結果全体を通してAまたはB評価の数が全体の8割以上であれば総合A、6割以上であれば総合B、4割以上であれば総合C、4割未満であれば総合Dと評価する。		A・Bの割合	総合評価
		100.0%	A

【参考】

平成30年度～令和3年度までの満足度平均

＜設問＞現在利用している保育園を見て総合的にどのように感じていますか

1	大変満足	67.1%
2	満足	26.4%
3	どちらともいえない	3.7%
4	不満	0.0%
5	大変不満	0.8%
6	非該当	2.0%
1・2の合計		93.5%
総合評価		A

Ⅲ－２ 南砂第四保育園選定結果

１ 書類審査・ヒアリングの結果

(1) 運営企画書による評価

江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会保育所専門部会会員による採点の結果は「A評価」である。採点詳細及び見解は11頁以下のとおりである。

(2) 利用者アンケートについて

平成30年から令和3年度までに実施した利用者アンケートの直近4か年の総合評価は「B評価」である。詳細は14頁のとおりでである。

(3) 財務状況審査

財務状況審査の基礎となる中小企業診断士による財務状況診断結果の詳細は16頁以下のとおりである。

中小企業診断士による決算分析を基に、専門部会において財務状況を審査した。非常に優れた財務状況である場合はA、一部に懸念すべき点があるが支障がない場合はB、懸念すべき点が多く支障がある場合はC、財務状況が非常に悪く支障がある場合はDとした。

２ 選定結果総括

	実績・今後の計画 (運営企画書)	保護者からの支持 (利用者アンケート)	財務状況診断
南砂第四保育園 (株)日本保育サービス	A	B	B

実績・今後の計画、保護者からの支持及び財務状況はおおむね良好であり、当法人については再指定が妥当であると考える。

３ 外部有識者への意見聴取

江東区南砂第四保育園における保育所指定管理者選定に関し、意見を聴取した。
(外部有識者氏名及び略歴)

氏名
略歴

意見聴取の結果については21頁のとおりでである。

【採点表】

区分	選定基準	配 点		南砂第四保育園	
	評価項目			(平均点)	(得点率)
1	保育園運営に関する考え方	(小計)	360	286.5	79.6%

区分	選定基準	配 点		南砂第四保育園	
	評価項目				(平均点)
2	特別保育事業に対する考え方	(小計)	40	33.4	83.5%
3	地域との関わりに対する考え方	(小計)	20	15.8	79.2%
4	職員配置	(小計)	20	16.3	81.5%
5	コスト削減	(小計)	10	8.3	83.1%
6	再指定にあたっての考え方	(小計)	10	8.5	84.6%
合計点		460点満点		369.0点	80.2%
※保育所専門部会員 13 人による平均得点を算出し、得点が配点の 8 割以上の場合は A、6 割以上の場合は B、4 割以上は C、4 割未満は D と評価する。				評価	
				得点率が 369 点 / 460 点 =	
				80.2%	
				よって A 評価とする。	

【南砂第四保育園の運営企画書に対する見解】

審査項目	保育所専門部会としての意見
1 保育園運営に関する考え方	全体的に良好な運営が確認された。園の管理システムを活用し保護者に写真付きで日常の保育内容や行事について配信している。安全面では、城東警察署と連携した防犯教室の開催や、近隣事業者による交通安全教室を開催するなど、地域の中で交流を持ちながら子どもたちの安心・安全に取り組んでいる。
(保育に携わる職員としての基本的な資質の確保)	基本的資質として、子どもを好きな気持ちを前提に、責任感、保育スキル、職員間や保護者とのコミュニケーションのための社交性・協調性を大切にしており、等級別の研修において、「保育の質」、「子どもの人権」等の研修を行っている。経験年数の長い職員に対しても、「主任の役割理解」など改めて保育士としての責任やその職種に求められることを理解する機会を設けている。 新人職員には先輩職員がペアとなって実際の保育の中で指導したり、他施設の先輩職員が相談役となるチューター制度により不安解消、問題解決につなげている。
2 特別保育事業に対する考え方	2時間延長保育、スポット延長保育を実施している。 特別な配慮が必要な子供に対して、療育支援センターや巡回指導員と定期的に情報共有を行い一体的な支援を行っている。 また年長クラスを中心に提携事業者の教材を使用し、「もじ・ことば」や「かず」に関する独自保育に努めている。
3 地域との関わりに対する考え方	地域に根差した保育園として、以前より近隣高齢者施設との敬老会や保育園とのドッジボール交流会を実施し、地域との連携を図ったり、近隣の子育て世帯に向けて、離乳食教室や移動動物園を開催し、連携や交流を工夫して行ってきた。コロナ禍においては、高齢者施設とオンラインでの交流を行ったが、今後は感染対策を実施したうえで訪問による交流を再開したいと考えている。
4 職員配置	必要とされる職員数を配置するようにしており、引き続き安定的な職員配置が今後も期待される。
5 コスト削減	保育園運営におけるコストの大部分は人件費であるため、大幅なコスト削減は困難である中、多くの施設を運営するスケールメリットを活かし、備品や消耗品を一度に大量購入し、単価を抑え不要な出費を抑える努力をしている。また、他園での経験を活かし、園に「経費削減担当」を置き、園内の電気・水道等無駄遣いなどを削減する工夫を考案・実践していく。
6 再指定にあたっての考え方	初めての再指定を迎え、職員も定着し安定した保育が実施できている。英語・リトミック・体操のほか、園庭で栽培した食材を使用したクッキング保育による食育や、食材の廃棄物を利用したコンポストの作成によるSDGsへの取り組みなど、独自の保育に積極的に取り組んでおり、今後も引き続き良好な運営が期待できる。

【利用者アンケート結果】

利用者アンケート(H30～R3平均)		南砂第四保育園	
		肯定的な 意見の割合	評価
1	保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	97.8%	A
2	保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	91.6%	A
3	提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	80.0%	A
4	保育所の生活で身近な自然や社会と十分に関わっているか	81.5%	A
5	保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	69.3%	B
6	安全対策が十分取られていると思うか	58.7%	C
7	行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	71.2%	B
8	子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	65.1%	B
9	施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	71.9%	B
10	職員の接遇・態度は適切か	83.3%	A
11	病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	76.1%	B
12	子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	50.3%	C
13	子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	82.9%	A
14	子どもと保護者のプライバシーは守られているか	71.6%	B
15	保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	62.8%	B
16	利用者の不満や要望は対応されているか	59.0%	C
17	外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	33.7%	D
※ 肯定的な答えの割合が8割以上であればA、6割以上はB、4割以上はC、4割未満はDと評価する。アンケート結果全体を通してAまたはB評価の数が全体の8割以上であれば総合A、6割以上であれば総合B、4割以上であれば総合C、4割未満であれば総合Dと評価する。		A・Bの割合	総合評価
		76.5%	B

【参考】

平成30年度～令和3年度までの満足度平均

＜設問＞現在利用している保育園を見て総合的にどのように感じていますか

1	大変満足	28.8%
2	満足	54.7%
3	どちらともいえない	12.2%
4	不満	3.2%
5	大変不満	0.7%
6	非該当	0.4%
1・2の合計		83.5%
総合評価		A

令和4年7月28日

江東区公の施設の指定管理者選定委員会

保育所専門部会 部会長殿

江東区南砂第二保育園及び南砂第四保育園における保育所指定管理者選定結果について

標記の件について、次のとおり報告します。

各施設の指定期間中の運営状況に対する評価については以下のとおりである。

1 江東区南砂第二保育園

全体として、良好な園運営が確認された。食育には特に力を入れており、行事食だけでなく咀嚼力向上のためのメニューや様々なテーマを設定した給食を提供し、また食育計画についても各年齢で月ごとに細かく設定するなど積極的に取り組んでいる。

園運営にあたり、必要十分な職員体制がとられており、職員が資質向上のため、法人内外の研修に参加する機会をもち、目的意識を持って参加できるよう年間を通して計画的に職員育成を行っている。

また、地域に根差した保育園として近隣の小学校や在宅センター、商店街の方々とも日ごろから連携を取り、地域で子供を育てる環境作りに取り組んでいる。

指定期間中の利用者アンケート結果についても、「大変満足」「満足」の平均合計が93.5%と高い評価を得ている。

2 江東区南砂第四保育園

全体として、良好な園運営が確認された。園の管理システムを活用し、保護者に写真付きで日常の保育内容や行事について配信するなど情報提供に努めている。また警察署や近隣企業の協力による防犯教室や交通安全教室など、地域の中で交流を持ちながら子どもたちの安全対策に取り組んでいる。

園運営にあたり、必要十分な職員体勢がとられており、新人職員には先輩職員がペアとなって実際の保育の中で指導したり、他施設の先輩職員が相談役となるチューター制度により不安解消を図るなど、職員の定着に努めている。

また、年長クラスを中心に提携事業者の教材を使用した「もじ・ことば」や「かず」に関する独自保育を導入するなど保護者の知育・学習ニーズに対応している。

初めての再指定であり、指定期間中の利用者アンケート結果ではB評価となっているが、直近（R3年度）のアンケートにおいては「大変満足」「満足」の合計が98.3%となっており、指定管理移行初年度と比較すると保護者の不満については改善が図られており、着実に保護者との信頼関係が構築されていると考えられる。

3 総評

いずれの園も良好な園運営が確認された。

コロナ禍において様々な行動が制限される中、子どもたちの安心安全のため各園とも工夫して目標とする保育に取り組み、保護者や地域とコミュニケーションを図りながら保育の提供が行われている。

非公募とする旨の決定や詳細に検討された選定基準及び評価項目を用いて書類審査等を実施していることから、選定の手順としては極めて公平で妥当である。法人を選定するに当たっての3つの条件である①実績及び今後の計画、②保護者からの支持、③財務状況診断についても、再指定を判断する上での的確な条件であると言える。

以上のことから結論づけると、全体的に区の求める保育サービス水準要求以上の保育を実施しており、保護者からの満足度も高く、事業者が変わることのリスク等を総合的に判断すると、上記2施設に係る指定管理者候補者として、現運営法人とすることが妥当である。

氏名

